

9月ロシア軍クリミア半島の要塞セヴァストポリ(Sivastopol)へピエモンテに駐屯している精鋭15,000人を派遣、1年がかりで、この要塞を陥落させ勝利した。世にいう「セヴァストポリ包囲戦」である。戦後、パリで講和会議が催され、戦争終結に大きく貢献したサルデーニャ王国、それを指揮したカヴール首相の外交手腕が国際的信望を勝ち得、発言権がヨーロッパでぐんと増した。彼はこのように政治、経済の諸改革を英国に見習い実行と共に断行、理詰めでサルデーニャ王国を一気にイタリア統一運動の中心とした。

オーストリア・ハプスブルグ家の重役たちは、イタリア半島の支配が終焉間近に迫っている予感を・・・感じたであろう。

1861年3月15日ヴェネチア(ヴェネト州)とローマを残し、イタリア新王国が誕生した。しかしその直後6月6日C・B・カヴール首相が急逝した為、イタリアの完全統一は10年遅れることとなる。

1866年10月ヴェネチア(ヴェネト州)イタリアに返還。

1870年9月普法戦争での「セダンの戦い」で、フランス軍は劣勢。ローマ・バチカンに駐留している自軍をも戦地へ派遣しなければならなかった。その為、ローマは完全に無防備となる。イタリア軍はそのすきを狙ってローマに進軍、無防備のローマを奪還した。そして教皇は孤立した。

1871年7月ローマを併合、イタリア王国はこれで完全統一し、イタリア国家が出来、首都をローマと決めた。

*リソルジメント(Risorgimento)運動

イタリア語辞書では再び生じること、再興すること、甦ることとある。イタリアが近代国家として独立と統一を達成し得る為の政治的文化運動である。

当時イタリアという名の国は存在せず、また地方の住人の文盲率は95%程であった。つまり、一般市民の住居が大都市であれば城壁の内であり、外の世間は判らない。田舎の人たちはわずかな周囲の世間のみであり、誰が政治をしているのか知らなかったし、占領下にあったことも多くの人々は知らなかった。彼ら庶民は糊口をしのぐ日々であり、政治どころではなかったのであろう。

*炭焼党(カルボネリーア Carboneria)

およそ1806年ごろ、カラブリア州の山中で結成されたこの党は、反オーストリア、反封建制を旗印にイタリアの独立を目指した結社である。

この「イタリアの独立」という高い理念のもとに集まった人々は、下級官僚、青年将校、そして農、工、商の知識人たちであったが下層階級、一般市民の文盲に対処できず、啓蒙活動がなかった為組織として脆弱なものとなり、オーストリアの弾圧に屈したが、この党员の中にジュゼッペ・マッツイーニがいた。

そしてこの党は再編され、1831年「青年イターリア」という結社をジュゼッペ・マッツイーニが結成する。1833年G・マッツイーニはジュゼッペ・ガリバルディとジェノヴァで会い、この党にG・ガリバルディが加わった。

しかしこの結社もオーストリアの執拗な弾圧に屈したが、徐々に一般市民へ口伝等で啓蒙